

《特選》

自分らしさを尊重し合える
社会に

彦根中学校 三年

相田^{あいだ} 紗代^{さよ} さん

私は人権学習を通して、自分
の人権感覚の軸になってい
た「当たり前」を考え直さな
いといけないと感じました。

特に性別についてです。性
別と聞くと男性か女性の二種
類だと考えていましたが、講
演に来てくださった方が「性
はグラデーション」とおっし
やっていて、性は人によって
様々だと思いました。

グラデーションである性に
は、二種類で分けきれないも
のがあります。しかし、社会を
見てみると性別が二種類で分
けられている場面が見られま
す。

例えばトイレの標識やアン

ケートの性別選択です。今ま
では何も意識していないこと
でしたが、二種類に分けられ
たものに悩み続ける方々もい
ることが分かりました。最近
では多目的トイレが増えてい
たり、性別選択のわくがなく
なっていたり、「その他」と選
択肢が増えていたり、性は二
種類ではないことを社会全体
で広めていこうという考え
があり、そのような考え方を
広めていくことで自分らしさ
を大切にできる人が多くなる
と、誰もが暮らしやすい社会
になると思いました。

しかし、性の多様性によつ
て新たな問題も生まれると考
えます。それは今まで男性と
女性の二種類で分けられてい
たことを時代に合わせて変え
るべきかという問題です。性
の多様性を重視しすぎてしま
うと、今まで守られてきたも
のを守りきれなくなることに
あると思います。

現在、彦根中学校では体育

大会でマスゲームが行われて
おり、男女で持つ布の色が分
けられています。「性の多様性」
の面から見ると男女で分けら
れていることに違和感を覚え
ますが、守られてきた「伝統」
という面から見ると変えにく
いものだと思います。

だから、今後は様々な面か
ら、いろんな立場になつて物
事を考えていく必要があると
思いました。

「性の多様性」が大切な考え
方となっている今、私たちに
できることは「当たり前」を見
直すことだと思います。

「男性だから」「女性らしい」
このような言葉を普段よく耳
にしますが、何気ない一言や
固定観念に縛られて苦しむ人
が身の周りにもいるかもしれ
ません。だから発言や行動に
注意していきたいです。

また、性的マイノリティの
方は特別な存在ではなく、グ
ラデーションのどこかに当て
はまる個性で、誰にでもグラ

デーションに当てはまるとこ
ろがあると思つたので、「性の
多様性」に関係がない人はい
ないと思いました。

今回の人権学習を通して、
自分や社会の中にある「当た
り前」を疑いながら人権問題
と向き合っていくことが「自
分らしさ」を尊重し合うま
ちにするために必要だと思い
ました。

互いを尊重し合いながら
様々な立場で物事を考え、誰
もが過ごしやすいまちにし
ていきたいです。

《選評》

「性別選択と性の多様性」に
ついて、深く考えていて、感心
しました。性はグラデーション
と言われますが、まだまだ社会
の中では、男性と女性の二つで
区別されていることが多く、男
性であっても女性であっても
個人が認識する性や性的指向
は多様であることなどをよく
学習して書かれているよい作
文です。